



外れたままにしないで！ 詰め物・被せ物



詰め物・被せ物は“一生ものではない”だけでなく。外れたらすぐに処置を受けることも重要です。

すぐに受診して
ほしいワケ

すぐに受診すると、詰め物・被せ物がつけなおせることがある

セメントが溶けただけであれば、外れたものをつけなおすことができます。

時間が経つとお口の中の状態が変化し、外れた詰め物被せ物が入らなくなる

外れてきたすき間に周りの歯が動いてきたり、隣の歯との距離が変わってきたりすることはよくあります。また、むし歯で歯が溶けたり、歯が欠けることで、形が変わる事もあります。

外れた部分の歯は欠けやすい

詰め物の治療では歯を削っているため歯が薄くなっているはず。そのため歯自体の耐久性が弱まっています。

むし歯になりやすい

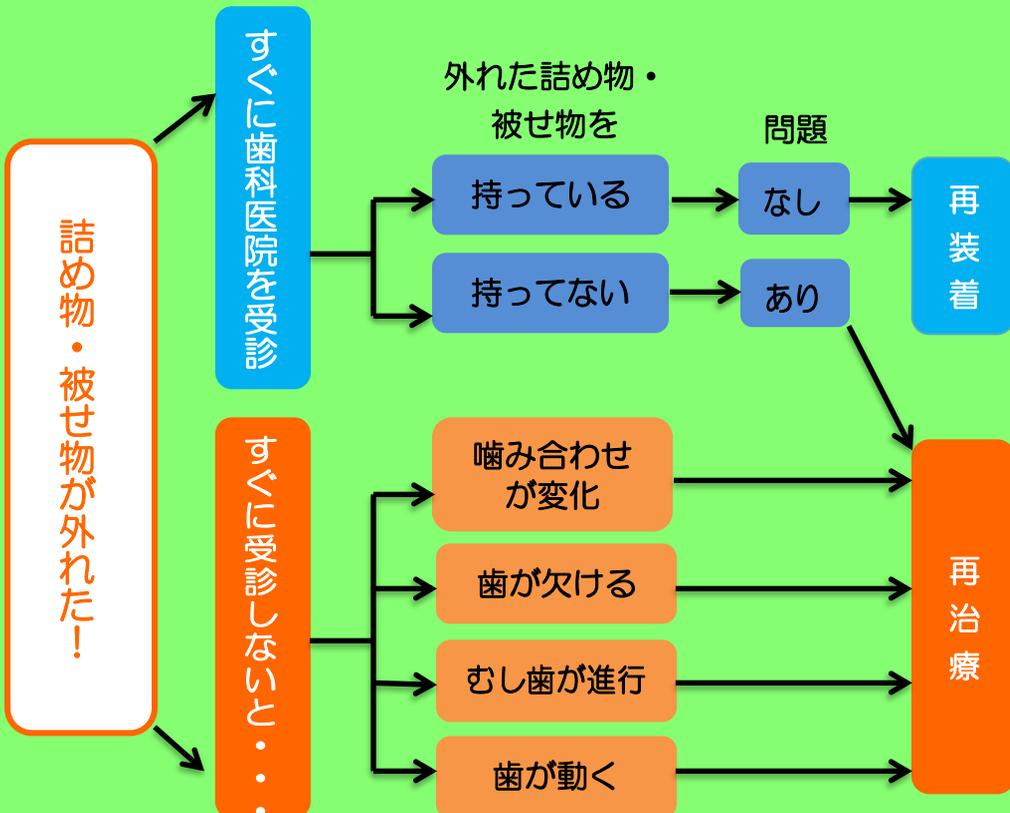
歯の内部（象牙質）はもともとむし歯になりやすいのですが、その部分を覆っていた詰め物や被せ物がなくなってしまうと、よりむし歯のリスクが高まります。

早めの治療でむし歯の広がりを抑えたい

詰め物・被せ物が外れただけならまだよいのですが、むし歯が原因で外れたり、ときに歯の根にヒビが入って外れてしまうこともあります。そのままにしておくと、むし歯の範囲が広がる可能性があります。

噛み合わせが変わることがある

大きな被せ物が取れた場合、周りの歯の移動量が大きくなり、噛み合わせにまで影響が及ぶことがあります。



お口の状態によりますが、基本的に再装着できるのは「すぐに受診」したときだけです。ですので、外れた詰め物・被せ物を歯医者さんにお持ちいただく事も重要です。

